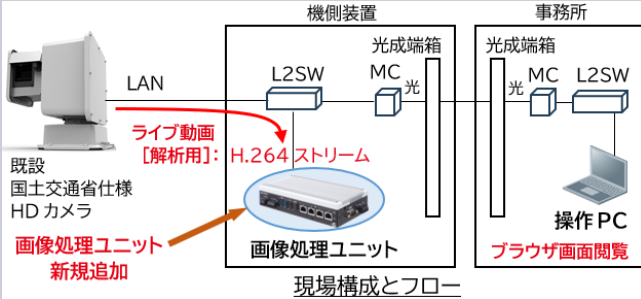
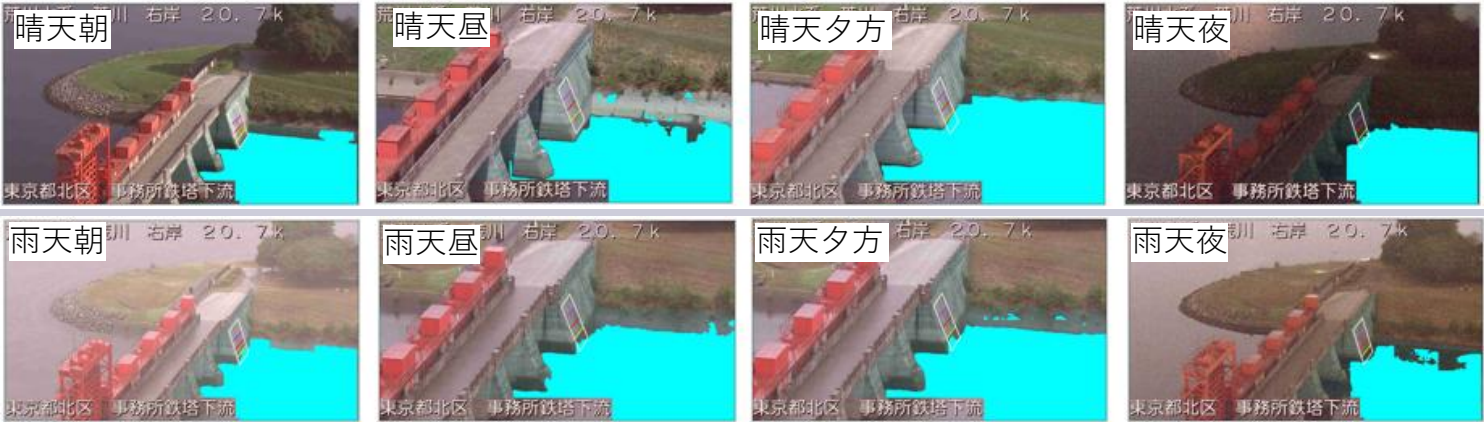


現場実証概要(令和7年現場実証結果)

技術名	国土交通省仕様カメラで取得した画像による水域判定技術(画像処理ユニット)			
技術概要	<p>本技術は国土交通省仕様HDカメラで取得した画像から水域を判定する技術で、4段階(危険/判断/注意/安全)の状態を判定する。従来は監視員による目視判断に頼っていたが、以下の効果がある。</p> <p>(1)同じエリアの水域を常に同じ判断基準で判定するため、属人的な判断差異がなくなる。</p> <p>(2)水域変化(増水)の見逃しを抑止できる。</p>		<p>システム概要</p>  <p>現場構成とフロー</p>	
実証結果	<p>当該画像処理ユニットは国土交通省仕様HDカメラの映像ストリームを取り込んで水域判定を行う装置である。提供頂いた録画画像からオフラインで解析を行い、画像上の水域が水色で着色されることを確認した。</p> <p>ただし、条件(コンクリートが濡れた場合、水面の影)により誤検知する場合が見られた。今回の結果を踏まえて改善予定である。</p>			
現場実証状況	 <p>(注) 朝(8:00頃)、昼(12:00頃)、夕方(16:00頃)、夜(21:00頃)、水門の下流側(左側)はマスク処理し検知対象外</p>			
問合せ先	開発団体名	三菱電機株式会社	担当者	井出 卓磨
			TEL	070-7487-5598